

水の郷 ニュース

柳川総合保健福祉センター
「水の郷」
「水の郷くらぶ」
柳川市上宮永町 6-3 ☎ 75-6200
FAX75-6210

- 開館時間 午前9時～午後9時（温泉は、午前10時～午後8時30分まで。図書館分室は午前10時～午後6時。すこやかルームは午前10時～午後9時）
- 4月の休館日 1日、8日、15日、22日、30日

4月の水の郷シネマは
お休みします

柳川温泉「南風」イベント

日本舞踊「泉徳弓社中」の皆さんが「子どもの踊り」と題して日本舞踊を披露します。

◆日時 4月3日（水）、午後1時～

◆料金 観覧無料（ただし温泉入場料は必要）

青色のスペースは身体障害者などの専用駐車場 まごころ駐車場は利用証が必要です



水の郷の正面に4区画ある青色のスペースは「ふくおか・まごころ駐車場」です。これは、障害者や高齢者なども安心して施設利用ができるようにする制度。この駐車場を利用するには、「ふくおか・まごころ駐車場利用証」が必要です。ご理解とご協力をお願いします。同利用証の申請、問い合わせは、県南筑後保健福祉環境事務所総務企画課（☎72・2111）まで。

柳川温泉「南風」にハーブ風呂が登場 ハーブの香りでリフレッシュしませんか

4月26日（金）は、南風に「ハーブ風呂」が登場します。ハーブの香りを楽しみながら、温泉でゆっくりとくつろぎませんか。

◆入浴料 一般（中学生以上）＝400円、65歳以上と障害者＝350円、4歳～小学生＝200円、3歳以下＝無料



水の郷 ホール
4月の主な催し

◆柳川文化協会カラオケ部「水郷」発表会 21日（日）、午前9時30分～、入場無料
【問】亀崎さん（☎72・3211）

たくさんの絵本を載せた キャラバンカーが柳川に



たくさんの絵本を載せたキャラバンカーで全国を回る「本とあそぼう全国訪問おはなし隊」が、市立図書館本館にやってきました。車内見学とおはなし会を開催します。

◆日時・会場 4月7日（日）、キャラバンカーの見学＝午後2時30分～、あめんぼ公園、おはなし会＝午後3時5分～、本館2階AVホール
◆対象 2～8歳児と保護者、無料

春のおはなし会

◆日時・会場 4月20日（土）、0～2歳児向け＝午後2時～、幼児・小学生向け＝午後2時30分～、本館1階おはなしのへや、無料

おはなし会（小学生以下）

▶本館＝毎週土曜（第4土曜は赤ちゃんおはなし会）、午後2時30分～▶三橋図書館＝第2、4土曜、午後3時～▶雲龍図書館＝第2土曜、午前10時30分～▶昭代分館＝第1、3土曜、午前11時～▶蒲池分館＝第2、4土曜、午前11時～

4月の無料映画会

4月13日（土）、午前11時～＝名画劇場「わさお」（116分）、午後3時～＝子ども映画「怪談レストラン」(77分)

図書館 ニュース

▷本館☎74-4111 FAX74-4946▷三橋図書館☎74-6300▷雲龍図書館☎76-1122▷両開分館☎74-4116▷昭代分館☎74-5111▷蒲池分館☎74-6200▷水の郷分室☎75-6204

■開館時間 午前10時～午後6時（金曜日は本館、三橋図書館、雲龍図書館とも午後8時まで）

■4月の休館日 月曜日（三橋図書館は火曜日）※25日（木）は資料整理のため全館休館。29日（月・祝）は三橋図書館と水の郷分室が開館

おすすめ新着図書

めだまとやぎ

にしかなこぶん・え（エル・ディー・アンド・ケイ）

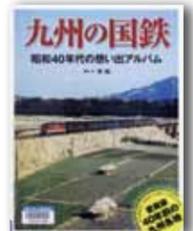
2月に公開された映画「きいろいゾウ」の原作者が手がけた絵本です。一緒に暮らすおじいさんの目玉を探す旅に出た2匹のヤギ。山を下りて、空港やまちでおじいさんの目玉を探しますが…



九州の国鉄

昭和40年代の思い出アルバム
林 嶼 写真・文（彩流社）

昭和40年代を中心に鹿児島本線、日豊本線、長崎本線、九州各地のローカル線の写真を掲載。時代を彩った九州の国鉄車両の写真を中心に、撮影時の状況なども紹介しています。



こころ歳時記

吉元 由美 著（テイスカヴァー・トゥエンティワン）

自然と共に生きてきた日本人の四季折々の生活や美しい日本語を、片岡鶴太郎さんの挿し絵と共に紹介。「自然のリズムを、現代に生きる人たちの中に取り戻していきたい」という著者の思いが詰まった本です。



柳川神棚

柳川は、九州で唯一の神棚の産地です。柳川神棚は、丁寧に作り込まれる障子屏や、屋根の中央部の唐破風という独特の曲線美を持たせる造りが特徴。昭和56年には、県の伝統工芸品に指定されました。

柳川で神棚作りが始まったのは江戸時代。八女で伝壇を作っていた職人が始めたという説と、宮大工が多かった柳川で、高齢になった宮大工が大きな仕事ができなくなって始めたという説がありますが、はっきりとは分かっていません。

柳川神棚に使われる木材は、全てヒノキ。戦前は、モミの木で作られていたそうです。神棚作りはまず、神棚を構成する部品をいくつも作ります。最後に部品を組み立てれば完成です。12月が最も売れる時期で、年間販売数の3分の1ほどを占めます。

戦前は市内に25軒ほどの神棚店があり、柳川は名古屋と並んで国内の2大産地だったそうです。現在は3軒だけとなった神棚店が、柳川神棚の伝統を守っています。

職人の手によって細部まで丁寧に作り込まれる

「柳川百選」は市企画課で配布。市のホームページでもダウンロード可。問い合わせは、同課（☎77・8423）へ。



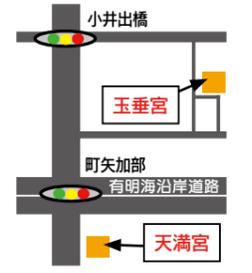
柳川百選まち歩き 第48回

いちまんど 壹萬度

4月8日から10日までの3日間にわたり、北矢加部地区と町矢加部地区で「壹萬度大祓い祭り」が行われます。この祭りは、江戸時代に疫病が流行した時に、一万回お祈りして、疫病を鎮めたことが始まりとされています。以前は市内の他の地域でも見られたそうですが、現在行っているのは両地区だけです。

祭りの最終日には、両地区で村回りが行われます。北矢加部地区は玉垂宮を、町矢加部地区は天満宮を出発。太鼓が鳴り響く中、てんぐ面を掲げた氏子らが地区内の家を回ってお米とお札を配ります。無病息災を祈願するため、お札は家の中に張り、お米は炊いて食べます。地元の人に話を聞くと「子どものころは、てんぐ面が怖くて、よく泣いたものです」と微笑みながら話しました。

北矢加部の壹萬度
町矢加部の壹萬度



市民の皆さんが大切にしたいもの、誇れるものを応募のなかから「柳川百選」として選びました。このコーナーでは、シリーズで紹介していきます。郷土の素晴らしさを再発見しませんか。